

第3章 平成31年度／令和元年度 研究開発の内容

1 教育課程の研究と学校設定科目の取組

(1) 教育課程の研究と学校設定科目の取組

① 教育課程研究の概要について（p19 参照）

スーパー・グローバル・ハイスクール事業（以下「SGH事業」）の成果や「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」の目的を踏まえ、課題研究や各教科、体験的な学習を有機的に関連させることにより、知・徳・体の調和のとれた、自主的、創造的でグローバルな視野をもった次代のリーダーの育成を目指す。

これまでも実施してきた地域についての学びを、地域との協働により持続的に課題研究という形でより深化・発展させるカリキュラムを編成する。このことにより、各教科の役割を明確にして体系化し、一層の有機的な連携を図ることで授業の改善を実現すると共に、生徒に学習と自己の生活を繋げ、自ら課題を発見し解決しようとする態度や考え方を育み、内発的で深い学びの実現を図る。また、これらの学習の成果を対外的に表現し共有させることで、適切なフィードバックを得るとともに、学習から得たものを自らの能力として確実に定着させることも期待できる。

さらに、「SGH事業」では取組が少なかった理系的な方面のテーマについても、Society5.0の時代を見据えた地域課題への取組の一貫として積極的に扱うことができ、生徒の興味・関心の幅も広がることを期待できる。

地域についての学習により、次代を担う地域リーダーとしての資質・能力を向上させることが期待でき、グローバルな視点を身に付け将来地域で活躍しようとする意欲をもったパワフルで創造的な人材育成を図る。

以上の内容を実施できる教育課程の研究を行った。

② 教育課程の概要

本校では、次に挙げる5つの点を基本的な方針として、教育課程を編成している。

- ・ 学習指導要領の趣旨に従い、多様な教科・科目を設け、生徒が選択して履修できるよう配慮する。
- ・ 生徒の適性・進路希望等に応じて一人ひとりの個性を伸ばすため、第2学年から文・理の2類型に分け、第3学年には教科・科目を適正に配置したコースを設けて、適切な選択を可能にするとともに選択の幅を広げる。
- ・ 文・理の各類型の特色がでるように教科・科目の配列を工夫し、充実した学習活動を展開できるようにする。
- ・ 各教科・科目の単位数配当にあたっては、他の教科・科目との関連を図りながら十分な学力養成ができるよう考慮する。
- ・ 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」に関する事業を推進するために、学校設定教科・科目を設置して、より横断的、探究的な学習活動を生徒一人ひとりが主体的に取り組むことができるように考慮する。

各類型の特徴を、以下に述べることにする。

文型… 文系学部（文、経済・経営、社会、法などの各学部）への進学を目指す類型で、国語・地歴公民・英語に重点を置く編成となっている。

3学年において、芸術Ⅲを選択することができる。

理型… 理系学部への進学を目指す類型で、数学・理科に重点を置く編成となっている。

3学年において、理Ⅰコースと理Ⅱコースを選択する。

理Ⅰコースは、理学、工学、医（医学科）学、薬学、農学などの各学部を、理

Ⅱコースは、生活科学、医療系の各学部をそれぞれ目指すコースとなっている。

また、講座編成の柔軟性を持たせ生徒の選択の幅を広げることや、授業時数を確保することを目的として、45分7限授業を設定している。

③ 必要となる教育課程の特例等

本校が考える次世代の地域（グローバル）リーダーの資質（問題解決能力、責任力、創造力、企画力、表現力、対話力、情報活用力）を生徒一人ひとりに確実に身に付けさせ、文化や言語の異なる人々と協働できる使命感・実行力をもつ国際人の育成を目指すためには、教育課程の特例措置等が必要となり、具体的には以下の通りとした。

○ グローバルコミュニケーション力を育成する教科・科目を設定した。

〈「グローバル国語」〉（第1学年・1単位 全員必履修）

（目的）異文化コミュニケーションをテーマとして「話すこと・聞くこと」の領域に特化した言語活動により、自分と異なる立場にある相手とコミュニケーションを取って、協力しながら問題解決に導く方法を体験的に学ぶことで、課題研究におけるディスカッションやディベート活動、発表や報告などの活動の基盤となる努力を育成する。

〈「グローバル英語」〉（第1学年・1単位 全員必履修）

（目的）CLIL（内容言語統合学習）の手法をもとに、課題研究のテーマについての発表プロジェクトを設定し、そのための資料として社会の中で実際に使われている英語を自ら検索する機会をもつ。

○ 生徒自らが現代社会の諸問題を課題として研究し、さらにそれを発展的に探究する教科・科目を設定した。

〈「課題研究」〉（第2学年・2単位 全員必履修 「総合的な探究の時間」で実施）

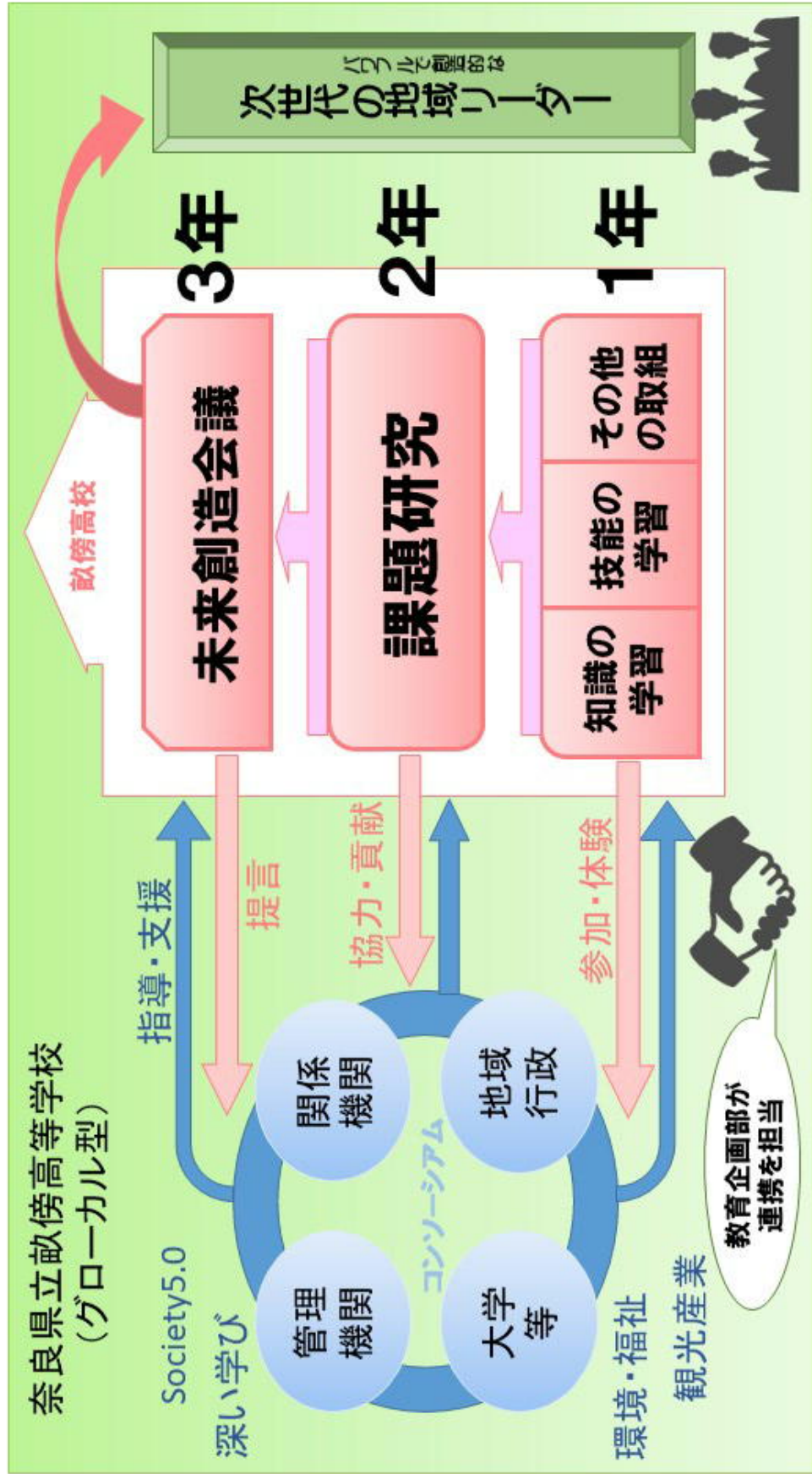
（目的）課題発見や問題解決能力を育成するとともに、大学や関係機関と連携した指導による論文作成や発表に取り組むことで、探究心と自主性及び企画力を育成することを目的とする。自主的な探究活動を実施することにより、主体性、論理的思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養うことを目的とする。

〈「課題研究α」〉（第2学年・1単位 選択履修 「総合的な探究の時間」で実施）

（目的）「課題研究」等で扱った内容をより深く、専門性をもった研究を継続・発展的に行う。また、第3学年に開催する「未来創造会議」における企画・運営の中心的な人材の育成を図ることにより、グローバルコミュニケーション能力や企画力を養い、次世代の地域（グローバル）リーダーとしての自覚と責任感・使命感を培う。

奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム

～グローバルな視点を身に付け、将来地域で活躍しようとする意欲をもったパワフルで創造的な人材育成に向けて～



令和2年度 入学生徒の教育課程表

奈良県立畷高等学校 全日課程普通科

区分	教科	標準 科目	学 年	普通科 - 文型				普通科 - 理型				備 考	
				1	2	3	計	1	2	3	計		
各 教 科	国 語	国語総合	4	4				4				12・14	文型は2、3年次を通して、アまたはイのセットを選択し世界史B・日本史B・地理Bから1科目を継続履修する。 理型は2年次において、アまたはイのセットを選択する。3年次には世界史B・日本史B・地理Bの演習科目を継続して履修するか、政治・経済を履修する。 1年次の数学Ⅱは、数学Ⅰを履修した後に履修をする。 理型2年次の数学Ⅲは、数学Ⅱを履修した後に履修する。 理型Ⅰ型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目2科目を継続して履修する。 理型Ⅱ型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目を継続して履修する。ただし、クの3科目の内2科目または1科目を選択することとする。 クの科目の内1科目のみを選択した場合は、ケの科目の2科目を選択する。
		国語現代文A	3										
		国語現代文B	4		3	3	18		2	2			
		古典A	2										
		古典B	4		4	2			2	2			
		古典習	2			2					ケ2		
	地 理 歴 史	世界史A	2		12				12			5・8	
		世界史B	4		73	73			73				
		日本史A	2										
		日本史B	4										
		地理A	2		72	13	13	8	72	13			
		地理B	4										
	公 民	現代社会	2		2			4	2			2・5	
		倫理	2										
		政治・経済	2			2					キ3		
	数 学	数学Ⅰ	3	3				3				I 20 II 20	
		数学Ⅱ	4	1	2	3		1	3				
		数学Ⅲ	5						2	2	5		
		数学A	2		2								
		数学B	2		3			2	1	3	3		
		数学活用	2										
		数学演習α	4								3		
		数学演習β	2										
		数学演習γ	3										
数学演習Ⅰ		2				イ2							
理 科	科学と人間生活Ⅱ	2								イ2	16・20		
	物理基礎	2	2				2						
	物理	4						2					
	化学基礎	2	2				2						
	化学	4						3	3				
	生物基礎	2	2				2						
	生物	4											
	地理学基礎	2											
	地理学演習	4											
	化学演習	4								ク4			
	生物演習	4								ク4			
保 体 健 育	基礎	2		2						ク4	9		
	基礎演習	2			3								
	基礎演習	7~8	2	2		3	9	2	2	3			
芸 術	音楽Ⅰ	2									4・7	音楽・美術・書道から1科目を継続履修する。	
	美術Ⅰ	2		2				2					
	書道Ⅰ	2											
	音楽Ⅱ	2											
	美術Ⅱ	2		2									
	書道Ⅱ	2											
外 国 語	コミュニケーション英語基礎	2									17・19		
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3				3						
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4				4					
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			4					4			
	英語表現Ⅰ	2	2					2					
	英語表現Ⅱ	4		2	2				2	2			
	英語会話	2											
家 庭	英語演習α	2				イ2					2		
	英語演習β	2				イ2				ケ2			
	家庭基礎	2	2				2						
情 報	家庭総合	4									2		
	生活デザイン	4											
ケ ー ミ ュ ニ シ ョ ン	情報科学	2					2	1	1		2		
	グローバル国語	1	1					1					
	グローバル英語	1	1				2	1					
教 育	SFU	1									1		
	教育実践基礎	1			1※	1				1※			
各教科・科目計				33	31	32・33	96・97	33	31	32・33	96・97		
総 合 的 な 探 究 の 時 間	課題研究			2			3		2		3・4		
	課題研究α			※1					※1				
各教科・科目等計				33	33・34	33・34	99-100E01	33	33・34	33・34	99-100E01		
特 別 活 動	ホームルーム活動		1	1	1	3	1	1	1	3	3		
	合計		34	34・35	34	102-103-104	34	34・35	34	102-103-104			
(注)				文科系の科目に重点をおいた類型。 アから1科目選択する。 イから1科目選択する。				理科系の科目に重点をおいた類型。 キから1科目を選択する。					

令和2年度における1・2・3学年の教育課程表

奈良県立畷傍高等学校 全日制課程普通科

区分	学科・類型				普通	普通	普通	普通	普通	備考		
	教科	標準	単	位	共通	文型	理型	文型	理型			
					科目	数	1 (9)	2 (5)	2 (4)		3 (4)	3 (6) I II
各 科	国 語	国 語	総 合	現 代	4	4						
					3							
					4							
					4							
					2						2	
	地 理 史	世 界 史	A	演 習	2		12	12				
					4		73	73				
					2							
					4							
					2		72	13	72	13		3
	公 民	現 代 社 会	理 論	演 習	2	2						
					2							
					2						2	
	数 学	数 学	学 習	演 習	I	3						
					II	4	1	2	3	4		
					III	5			2		5	
					A	2	2					
					B	2		3	1			3
					α	3						3
					β	2						
					γ	3						
					I	2						12
					II	2						12
	理 科	科 学	と 人 間 生 活	理 論	2	2						
					2							
4												
2					2							
4							3	3				
2					2							
4												
4												
4												
1												
保 体 育	体 育	基 礎	演 習	7~8	2	2	2	3	3			
				2	1	1	1					
芸 術	音 楽	書 道	演 習	I	2							
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
外 国 語	コ ミュ ニ ケー ション	英 語	演 習	I	3	3						
				4		4	4					
				4								
				2	2							
				4		2	2	2	2			
				2								
				2								
家 庭	家 庭	生 活	演 習	2	2							
				4								
				4								
情 報	社 会	情 報	演 習	2	1	1	1					
ケ ー ス 学 習	グ ロー バ ル	国 語	演 習	1	1							
				1	1							
				1								
教 育	教 育	実 践	演 習	1				1※	1※			
各教科・科目計					33	31	31	32・33	32・33			
総 合 的 な 探 究 の 時 間	課 題 研 究	課 題 研 究	演 習	2		2						
				α		※1	※1					
				1								
各教科・科目等計					33	33・34	33・34	33・34	33・34			
特 別 活 動	ホ ー ム ル ーム	活 動	演 習	1	1	1	1	1	1			
合 計					34	34・35	34・35	34・35	34・35			
(注)										アから1科目選択する。 イから1科目選択する。		

2年次はアまたはイのセットを選択し世界史B・日本史B・地理Bから1科目を継続履修する。
3年次は、2年次選択のB科目を継続履修する。

1年次の数学Ⅱは、数学Ⅰを履修した後に履修する。
理型2年次の数学Ⅲは、数学Ⅱを履修した後に履修する。

理型Ⅰ型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目2科目を継続して履修する。
理型Ⅱ型の3年次は、2年次に選択した物理、化学、生物の演習科目を継続して履修する。ただし、クの3科目の内2科目または1科目を選択することとする。
クの科目の内1科目のみを選択した場合は、ケの科目の2科目を選択する。

音楽・美術・書道から1科目を継続履修する。

教育実践基礎は「次世代教員養成塾(前期プログラム)」における学校設定科目である。

※課題研究αは希望者による夏期休業等におけるまとめ取りである。